

知るは楽しい！琵琶湖文化館

[第7回] クイズ チャレンジ!!

琵琶湖文化館の収蔵品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことに、あれこれクイズにしてみました。是非チャレンジしてみてください！

問題 19

この書は、あるお坊さまが愛弟子に名を与えた時に書いた書です。そのお坊さまとは、臨済宗永源寺派の祖師・寂室元光和尚。東近江市にある永源寺には、「寂室和尚坐像」があり、重要文化財に指定されています。



重要文化財 寂室元光墨蹟
(退蔵寺蔵)



実は琵琶湖文化館には、これと同じ素材、同じ構造で作られた模造の寂室元光像があります。そこで問題です。このお像、琵琶湖文化館の収蔵品の中で1・2を争う〇〇とされています。さてそれは何でしょうか？

- ① 大きさ ② 重さ ③ キュートなほほえみ

近江の文化財 < 収蔵品紹介 < 彫刻 < 塑像 寂室元光像

問題 20

滋賀県の文化財についての問題です。国指定重要文化財（国宝含む）に指定されている、彫刻の素材について、多い順番に並べてください。

- ① 金属（金造・銀造・銅造） ② 土（塑像） ③ 漆（乾漆像） ④ 木 ⑤ 石

ヒント：

[近江の文化財
< 滋賀県の指定文化財
< 指定文化財目録・彫刻]

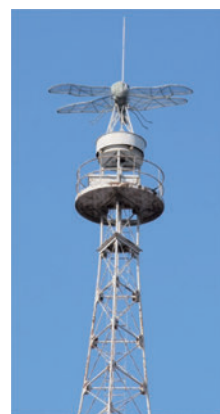


問題 21

琵琶湖文化館の屋上に設置されている大きなトンボのモニュメント。文化館のシンボルとして昭和 36 年（1961）の開館以来、湖上約 40mの高さから、大津の街を見守っています。それでは問題です。当時、このトンボにあった、ちょっと意外な“仕掛け”とは何だっただけでしょう。次の中から正解を2つ選んでください。

- ① グルグル回転した ② 眼が光った ③ しっぽが上下した
④ しっぽにのることができた ⑤ 羽が動いた

ヒント：[文化館について < 「あきつ君」について]



滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

クイズの答えは、[第8回] に掲載します。琵琶湖文化館のウェブサイト「近江の文化財」の中には、答えのヒントとなる「滋賀県の指定文化財」「収蔵品紹介」を掲載しています。この機会に当館のウェブサイトも是非ご覧下さい。



知るは楽しい！琵琶湖文化館

【第7回】クイズチャレンジ!!

【回答編】

答え 19

正解は【②重さ】

※「③キュートなほほえみ」も正解とします。

この像は、実は見た目以上にとても「重い」です。というのも、粘土（土）で造られた塑像であり、永源寺にある重要文化財の寂室和尚坐像を昭和58年（1983）に修理した際、明らかとなった内部の構造や技法に基づいて造っているからです。「井」の形の木枠に曲げ材などを荒縄で巻いたものを加えて作った心木に、塑土を盛って形を作り、表面は布を張り上に黒漆を塗り重ねて彩色しています。模造とはいえ、原本と同じに制作当時の技法で作ったことの意味はとて大きく、後世へ文化財を受け継ぐための大切な手がかりとなります。



[🔍 あきつブログ<2016.9.21 付け

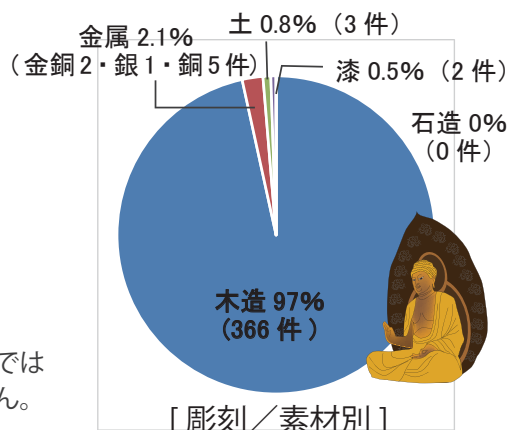
「つながる美」梱包搬出作業] 移動させる際には数人がかりで、まさに「お出まし」いただくといった態勢です。

答え 20

正解は【④木>①金属>②土>③漆>⑤石】

グラフの通り、「木」が圧倒的多数を占めています。古いお像は表面に彩色や漆を塗ったり、金箔を貼ることが多いので、どのような素材でできているかは一見するとわかりにくくなっていますが、見た目は木で出来ているように見えないお像でも、実際は木造であることがほとんどです。逆に、木以外のお像を見つけたときは、ちょっとレアなケースに出会ったということになるでしょう。

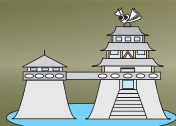
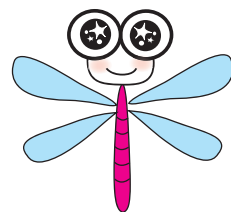
※滋賀県を代表する石仏である石坂磨崖仏は、美術工芸品の彫刻ではなく、史跡として指定されているため、ここには含まれていません。



答え 21

正解は【①グルグル回転した・②眼が光った】

①グルグル回転していた頃の貴重な映像は、🔍デジタルアーカイブ「昭和35年②」の25分20秒辺りで、見ることができます。このトンボの種類はアキアカネ（赤とんぼ）で、羽を広げた長さは約3mのもになります。初代館長は、「澄みきった空高く琵琶湖の上をスイタタと飛ぶ、トンボの明朗にして健康な」イメージから、シンボルとして採用されたと、語っています。現在は、このトンボをマスコットキャラクターにした「あきつ君」が隠れた人気となっています。



滋賀県立 琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp